

安全データシート

作成 2010年7月2日

改訂 2024年4月1日

1. 化学品及び会社情報

製品の名称	アサヒボンド 701 主剤
会社名称	アサヒボンド工業株式会社
住所	東京都板橋区大谷口北町3-7
担当部門	営業部
電話番号	(03)3972-4929
FAX番号	(03)3972-4583
推奨用途	繊維シートを併用して、コンクリートの耐震補強に限る。
整理番号	10511

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

物理化学的危険性	区分に該当しないまたは分類できない	
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2A
	皮膚感作性	区分1
	生殖細胞変異原性	区分2
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	区分2
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分2
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分2

* 上記で記載がない危険有害性は、分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起後

警告

危険有害性情報

(H315) 皮膚刺激
(H319) 強い眼刺激
(H317) アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
(H341) 遺伝性疾患のおそれの疑い
(H401) 水生生物に毒性
(H411) 長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】

- (P264) 取扱い後は手をよく洗うこと。
 (P280) 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 (P261) 粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
 (P272) 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 (P201) 使用前に取扱説明書を入手すること。
 (P202) 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 (P273) 環境への放出を避けること。

【応急措置】

- (P302+P352) 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
 (P332+P313) 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
 (P362+P364) 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 (P305+P351+P338) 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外すこと。その後も洗浄を続けること。
 (P337+P313) 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。
 (P333+P313) 皮膚刺激又は発しんが生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
 (P308+P313) ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。
 (P321) 特別な処置が必要である。
 (P391) 漏出物を回収すること。

【保管】 (P405) 施錠して保管すること。

【廃棄】 (P501) 内容物や容器は国・地方の許可を受けた産業廃棄物業者に委託し廃棄すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物			
化学名又は一般名	低変揺性ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂			
危険有害成分	濃度 (%)	CAS 番号	官報公示整理番号	
ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂	60～70	25068-38-6	(7)-1283(化審法)	
1,2-エポキシ-3-(トリメチル)プロパン	16	26447-14-3	(3)-574, (3)-594	
エポキシ樹脂	10～20	記載済	既存	
シリカ	1～5	112945-52-5	(1)-548	

4. 応急措置

皮膚に付着した場合	汚染された衣類と靴を脱ぎ、直ちに多量の水と石鹼で洗うこと。 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は医師の診断、手当を受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が継続する場合は、医師の診断、手当を受けること。

5. 火災時の措置

消火剤	泡消火剤、乾燥砂、噴霧水。
特有の消火方法	
周辺火災の場合	移動不可能な場合、容器、梱包及び周辺に散水し冷却する。

着火した場合 消火を行う者の保護	火元（燃焼源）を断ち適切な消火剤を用いて風上から消火する。 火災により有害ガスやヒュームが発生するので、適切な呼吸用保護具（送気マスク、自給式呼吸器）を着用する。
---------------------	--

6. 漏出時の措置

関係法令に準拠して作業する。	
人体に対する注意事項 保護具及び緊急時措置	作業者は保護具（曝露防止措置及び保護措置の項を参照）を着用し風上で作業する。 屋内の場合、処理が終わるまで適切な換気を行う。 漏出した場所の周囲にはロープを張る等して、関係者以外の立入を禁止する。
環境に対する注意事項 回収・中和	漏出物が河川、水路等公共水路に流れ込むのを防止する。 漏出物を密閉可能な容器にできる限り集める。 残留物は土、砂等に吸着させて密閉可能な容器に回収する。後で廃棄処理する。
封じ込め及び浄化の 方法及び機材	危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策	付近の着火源を速やかに取り除く。 漏出した場所の周囲には関係者以外の立入を禁止する。 万一、河川公共水路等に流込した場合は、直ちに地方自治体の公害担当者に報告する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

関係法令に準拠して作業する。	
取扱い	
技術的対策	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体排気	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気・全体排気を行う。
安全取扱注意事項	眼、皮膚との接触を避けること。ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。取扱い後はよく洗うこと。環境への放出を避けること。
接触回避	データなし。
保管	
技術的対策	消防法の規定に従う。
接触禁止物質	データなし。
保管条件	酸化剤から離して保管する。
容器包装材料	データなし。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない。
許容濃度（曝露限界値、生物学的指標）	
日本産業衛生学会（2018年度版）	設定されていない。
ACGIH（2007年度版）	設定されていない。
設備対策	貯蔵ないし取扱う作業場には安全シャワー及び洗眼器を設置すること。 特別な換気要求事項はない。
保護具	

呼吸器の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。
衛生対策	取扱い後、手や顔をよく洗い、うがいをする事。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態、色	深緑色のペースト状物
臭い	僅かなエーテル臭
pH	データなし。
融点/凝固点	データなし。
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし。
引火点	185℃
爆発限界	データなし。
蒸気圧	データなし。
蒸気密度	データなし。
比重	1.15～1.22 (23/23℃)
溶解度	芳香族炭化水素系溶剤、ケトン等の有機溶剤に可溶。
n-オクタン-1-オール/水分配係数	データなし。
自然発火点	データなし。
分解温度	データなし。
臭いの閾値	データなし。
蒸発速度	データなし。
燃焼性(固体・ガス)	該当しない。

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。
危険有害性反応可能性	データなし。
避けるべき条件	データなし。
混触危険物質	データなし。
危険有害な分解性生物	データなし。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	区分に該当しない。 以下の区分の急性毒性/経口の物質を含む。 区分に該当しない ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂 ラット LD50 11,400mg/kg
急性毒性（経皮）	区分に該当しない。
急性毒性（吸入）	区分に該当しない。
皮膚腐食性/刺激性	皮膚刺激（区分2）

	以下の区分の皮膚腐食性/刺激性の物質を含む。
	区分2 ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂
眼に対する重篤な 損傷性/眼刺激性	強い眼刺激 (区分2A) 以下の区分の眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性の物質を含む。
	区分2A ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂
呼吸器感受性又は 皮膚感受性	呼吸器感受性：データなし。 皮膚感受性：アレルギー皮膚反応を起こすおそれ(区分1) 以下の区分の皮膚感受性の物質を含む。
	区分1 ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂
生殖細胞変異原性	遺伝子疾患のおそれの疑い。 以下の区分の生殖細胞変異原性の物質を含む。
	区分2 ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂
発がん性	データなし。
生殖毒性	データなし。 以下の区分の生殖毒性の物質を含む。
	分類できない。 ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし。
吸引性呼吸器有害性	データなし。
1.2. 環境影響情報	
水生環境急性有害性	水生生物に毒性(区分2) 以下の区分の水生環境急性有害性の物質を含む。
	区分2 ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂
	甲殻類 オキシノコ EC50(48時間) 1.7mg/L
	水溶解度 0.041mg/L
水生環境慢性有害性	長期継続的影響によって水生生物に毒性(区分2) 以下の区分の水生環境慢性有害性の物質を含む。
	区分2 ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂
	残留性・分解性 ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂 難分解性：BOD 分解度 0%
	生態蓄積性 ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂 低濃縮性：BCF<42
生態毒性	データなし。
オゾン層への有害性	本製品はモントリオール議定書の付属書にリストされていないため該当しない。
1.3. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	廃棄の前に可能な限り無害化、安定化の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	容器を清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は内容物を完全に除去すること。
1.4. 輸送上の注意	

国際規則	航空輸送は I A T A、及び海上輸送は I N D G の規則に従う。
国連分類	クラス 9
国連番号	3077
国内規制	
陸上輸送	消防法に従う。
海上輸送	船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	航空法に定められている運送方法に従う。
特別の安全対策	保護具、消火器を携帯する。 必要であれば、イエローカードを携帯する。 容器に漏れのないことを確認し、転倒、落下、破損が無いように積載し荷崩れ防止を 確実にを行う。

1 5. 適用法令

消防法	危険物に該当しない。
化学物質管理促進法 (PRTR 法)	1,2-エポキシ-3-(トリオキシ)プロパン(含有重量 16%、第 2 種指定化学物質)
劇物毒物取締法	非該当
労働安全衛生法	
名称等を通知すべき有害物質	ビスフェノール A 型液状エポキシ樹脂
名称等を表示すべき有害物質	ビスフェノール A 型液状エポキシ樹脂
がん原性がある物	非該当
皮膚等障害化学物質	ビスフェノール A 型液状エポキシ樹脂
変異原性が認められた物質	含有する。 ビスフェノール A 型液状エポキシ樹脂 (平成 9 年 12 月 24 日 労働基準局長通達 基発第 770 号の 2) 1,2-エポキシ-3-(トリオキシ)プロパン (法第 57 条の 5、労働基準局長通達)
労働基準法	
感作性物質の指定	ビスフェノール A 型液状エポキシ樹脂 (平成 8 年 3 月 29 日 労働基準局長通達 基発第 182 号)
疾病化学物質の指定	ビスフェノール A 型液状エポキシ樹脂 (第 75 条第 2 項、施行規則第 35 条別表第 1 の 2 第 4 号 1・昭 53 労告 36 号)
船舶安全法	危規則告示別表第 1 (有害物質) 容器等級 III
海洋汚染防止法	有害液体物質 (X 類物質 ビスフェノール A エピクロロヒドリン樹脂)
航空法	施行規則告示別表第 1 (有害性物質) 等級 III
輸出貿易管理令	該当する (キャッチオール規制対象品)。

1 6. その他の情報

JAIA-005385 F☆☆☆☆登録製品です。

- 参考文献
- 1) JIS Z 7253(2019)
 - 2) 原料メーカー発行の安全性データシート

3) 日本化学工業会「緊急時応急措置指針」

「記載内容の取扱い」

記載内容は現時点で入手できた資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理・化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保障をなすものではありません。また、注意事項は通常を取扱いを対象としたものなので特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全策を実施の上ご利用下さい。